

まちの歴史に触れる

静寂がここを和ませる
歴史がここを躍らせる

多福寺



静寂を楽しむ多福寺 写真右は参道に続く途中にある「山門」から多福寺本堂を見た様子。境内は緑が多くあり、来場者を涼しげに出迎えてくれます。写真上は多福寺本堂外観。



住所：上富 1542
駐車場：あり
バス：地蔵前下車すぐ
☎ 258-6655
(文化財保護課)

元禄9年8月、今から316年前、三富新田開拓の親「柳沢吉保」が開拓農民の心のよりどころとして建立しました。当時の農民はこの建立により、一体感が生まれ、連帯意識が芽生えました。また、農民の精神的支柱として大きな役割を果たしました。多福寺の周辺は深い林が広がり、野鳥や、昆虫などをみることで、緑に囲まれた自然豊かな場所ということを再認識させられます。

静寂に包まれたこの寺の歴史に思いを馳せながら、現代のあわただしい日常から心を休めて、夏の緑の葉の木漏れ日、葉擦れのささやき、風の音に癒されてみてはいかがでしょうか。



住所：上富 1279-3 (旧島田家) 駐車場：あり
☎ 258-6655(文化財保護課)
※旧池上家は歴史民俗資料館に隣接しています。

古民家

先人の知恵が詰まる古民家時代をタイムスリップ

歴史民俗資料館に隣接する「旧池上家」は江戸末期から明治初頭に建築され、「旧島田家」はおよそ200年前に建築されたものと推測されています。

古民家の中に入ると囲炉裏がまず目につきます。そして懐かしい香りが漂い訪れる人を包み込みます。夏のこの時期は、外に比べてひんやりと涼しさを肌で感じるができます。かやぶき屋根、土でできた壁。機械のない時代に、暑い夏を乗り切るために考えられた先人の知恵が古民家に詰まっています。

どなたでも古民家の中に入ることが出来ます(月曜日、祝日を除く)ので、昔の農家の人々の暮らしに触れ、この夏、先人の知恵が詰まった古民家を訪れ、タイムスリップしてみませんか。



町内に残る2つの古民家 写真右は歴史民俗資料館に隣接している「旧池上家」の中。古民家の雰囲気を感じながらさまざまなイベントが行われています。写真上は上富の「旧島田家」。こちらでも体験学習などが行われ、初夏にはカブトムシの幼虫キット作りなども行います。



木ノ宮地蔵堂

4月・8月に縁日で賑わう縁結び・子授け・安産にご利益



伝説では建立が、坂上田村麻呂の時代と聞きますから、平安時代の初めのことと言われています。現在の本堂は安永



住所：上富 1501
駐車場：あり
バス：地蔵前下車
☎ 258-6655
(文化財保護課)

6年、今から235年前に再建されたものです。その本堂内には「木造の地藏菩薩半伽像」が安置されていて、そのため地藏堂と呼ばれています。縁結び・子授け・安産にご利益があるとされ、4月・8月の23・24日に行われる縁日には親子連れで訪れる姿が見られ、露店が立ち並び、たくさんの人でにぎわいます。今月はちょうど縁日が行われます。ぜひ足を運んでみてください。



年2回の縁日 4・8月の年2回、縁日が行われ、山車も出てにぎわいます。本堂内の天井には107枚の天井画が描かれています。(15頁文化財を訪ねてをご覧ください。)

歴史民俗資料館

みよしの歴史・文化を学ぶもっと町が好きになる



住所：竹間沢 877
駐車場：あり
開館時間：9:00～16:30
休館日：月曜日・祝日
☎ 258-6655



三芳町の歴史・文化を学び、まもり、探る館。それが歴史民俗資料館です。常設展示室では、原始・古代から近世までの時代を追った展示および産業(さつまいも)・教育(寺子屋)・芸能(竹間沢車人形)をテーマにした展示によって構成されています。特別展示室兼ギャラリーでは、テーマを絞った企画展や特別展、季節に合わせた歳時記展示などを行っています。資料館は旧池上家に隣接しておりますので、訪れた際にはあわせてお立ち寄りください。私

たちの住む三芳町。先人が長い年月を費やして築き上げた三芳の歴史をこの夏、資料館で触れてみてはいかがでしょうか。(入館無料)

◆歴史民俗資料館のイベント情報は23頁の「イベントインフォメーション」に掲載しています。